

## 平成23年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 きちり

 コード番号 3082 URL <http://www.kichiri.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平川 昌紀

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理本部長 (氏名) 葛原 昭

TEL 06-6244-5966

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年6月期第1四半期の業績(平成22年7月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第1四半期	1,274	8.8	29	—	37	187.9	9	172.8
22年6月期第1四半期	1,171	△3.7	1	△96.2	12	△70.5	3	△84.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第1四半期	1,156.58	1,147.01
22年6月期第1四半期	423.98	419.45

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第1四半期	2,711	743	27.1	90,001.25
22年6月期	2,694	732	26.9	88,844.67

(参考) 自己資本 23年6月期第1四半期 733百万円 22年6月期 724百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年6月期	—				
23年6月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年6月期の業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,486	0.6	47	33.6	58	9.8	23	△17.3	2,872.82
通期	5,100	2.1	80	19.1	101	△17.6	47	13.4	5,779.20

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年6月期1Q	8,152株	22年6月期	8,152株
② 期末自己株式数	23年6月期1Q	—株	22年6月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年6月期1Q	8,152株	22年6月期1Q	8,152株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 3「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) セグメント情報 .....	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国の経済は、国内の景気刺激策等により継続的な持ち直しや自立的回復の動きがみられるものの、急激な円高進行に加え、厳しい雇用・所得環境に改善の兆しがみられず、消費者物価は緩やかな下落が続き、先行きの景気に下振れのリスクを抱えたまま推移いたしました。

外食業界におきましても、消費者の生活防衛意識を背景に、低価格化による顧客獲得指向が更なる高まりをみせるなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社は関西圏での更なるブランド力の向上のため大阪で1店舗「altro luogo」の業態変更を行い、関東圏では「いしがまやハンバーグ」を東京で1店舗出店し、事業規模の拡大を図ってまいりました。

その結果、当第1四半期会計期間の売上高は1,274百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は29百万円（前年同四半期会計期間は1百万円の営業利益）、経常利益は37百万円（前年同期比187.9%増）、四半期純利益は9百万円（前年同期比172.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は2,711百万円となり、前事業年度末と比較して17百万円増加しております。

このうち、流動資産合計は622百万円となり、前事業年度末と比較して26百万円増加しております。

増加の主な要因は、現金及び預金が32百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は2,089百万円となり、前事業年度末と比較して8百万円減少しております。

減少の主な要因は、新規店舗出店及び店舗改装等により有形固定資産が6百万円増加しましたが、「資産除去債務に関する会計基準」の適用等により差入保証金が14百万円減少したことによるものであります。

##### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は1,968百万円となり、前事業年度末と比較して6百万円増加しております。

このうち、流動負債合計は961百万円となり、前事業年度末と比較して48百万円増加しております。

増加の主な要因は、新規店舗出店及び店舗改装等に伴い未払金が44百万円増加したことによるものであります。

固定負債合計は1,007百万円となり、前事業年度末と比較して41百万円減少しております。

減少の主な要因は、借入金の返済により長期借入金が27百万円、長期前受収益が10百万円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は743百万円となり、前事業年度末と比較して10百万円増加しております。

増加の主な要因は、四半期純利益9百万円の計上に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが78百万円の資金増、投資活動によるキャッシュ・フロー13百万円の資金減、財務活動によるキャッシュ・フローが31百万円の資金減となりました。その結果、当第1四半期会計期間末における資金残高は、前事業年度末から32百万円増加し424百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、78百万円のキャッシュ・フローの増加となりました。

増加の主な要因は、減価償却費を59百万円、税引前四半期純利益21百万円を計上したことによるものであります。一方、減少の主な要因は、法人税等の支払10百万円を計上したことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、13百万円のキャッシュ・フローの減少となりました。

減少の主な要因は、新規店舗出店及び店舗改装等による有形固定資産の取得による支出11百万円及び差入保証金の差入のため9百万円の支出を行ったことによるものであります。一方、増加の要因は、差入保証金の回収により7百万円計上したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、31百万円のキャッシュ・フローの減少となりました。

減少の主な要因として、新規店舗出店に伴い長期借入金が増加しましたが、長期借入金の返済による支出121百万円及びリース債務の返済による支出10百万円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年6月期の業績予想につきましては、平成22年8月13日付「平成22年6月期決算短信（非連結）」にて公表いたしました業績予想から変更はございません。

## 2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(「資産除去債務に関する会計基準」等の適用)

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益がそれぞれ0百万円減少し、税引前四半期純利益は16百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は6百万円であり、差入保証金の変動額は15百万円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	424,287	391,496
売掛金	53,121	57,242
原材料及び貯蔵品	32,657	32,003
その他	112,123	115,206
流動資産合計	622,190	595,949
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,121,485	1,117,824
その他(純額)	193,125	189,887
有形固定資産合計	1,314,610	1,307,711
無形固定資産	13,661	14,467
投資その他の資産		
差入保証金	645,852	660,540
その他	115,146	115,483
投資その他の資産合計	760,999	776,024
固定資産合計	2,089,272	2,098,204
資産合計	2,711,462	2,694,154
負債の部		
流動負債		
買掛金	121,072	122,203
1年内返済予定の長期借入金	454,856	448,756
未払法人税等	12,216	19,854
資産除去債務	6,970	—
その他	365,923	322,215
流動負債合計	961,038	913,029
固定負債		
長期借入金	751,438	778,742
その他	255,892	269,717
固定負債合計	1,007,330	1,048,459
負債合計	1,968,369	1,961,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	360,171	360,171
資本剰余金	320,171	320,171
利益剰余金	53,347	43,918
株主資本合計	733,690	724,261
新株予約権	9,402	8,403
純資産合計	743,093	732,664
負債純資産合計	2,711,462	2,694,154

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,171,045	1,274,023
売上原価	314,147	346,282
売上総利益	856,897	927,741
販売費及び一般管理費	855,166	898,262
営業利益	1,730	29,478
営業外収益		
受取利息	0	0
協賛金収入	8,700	9,827
受取補償金	5,541	—
その他	532	1,811
営業外収益合計	14,775	11,639
営業外費用		
支払利息	3,531	3,557
その他	25	278
営業外費用合計	3,557	3,835
経常利益	12,949	37,282
特別損失		
固定資産除却損	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,907
特別損失合計	0	15,907
税引前四半期純利益	12,949	21,375
法人税、住民税及び事業税	1,753	9,203
法人税等調整額	7,739	2,743
法人税等合計	9,493	11,946
四半期純利益	3,456	9,428

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	12,949	21,375
減価償却費	53,328	59,307
長期前払費用償却額	2,771	2,296
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,077	—
受取利息	△0	△0
支払利息	3,531	3,557
有形固定資産除却損	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,907
売上債権の増減額 (△は増加)	7,088	4,120
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,490	△653
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,594	△1,130
未収入金の増減額 (△は増加)	△2,134	2,744
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△20,744	△486
未払金の増減額 (△は減少)	△10,080	6,643
未払費用の増減額 (△は減少)	△944	3,768
長期前受収益の増減額 (△は減少)	—	△10,318
その他の資産の増減額 (△は増加)	5,166	△3,929
その他の負債の増減額 (△は減少)	161,059	△11,488
その他	1,311	999
小計	201,138	92,713
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△3,520	△3,483
契約解約金の支払額	△82,551	—
法人税等の支払額	△3,788	△10,763
営業活動によるキャッシュ・フロー	111,278	78,467
投資活動によるキャッシュ・フロー		
出資金の回収による収入	10	—
有形固定資産の取得による支出	△17,226	△11,978
無形固定資産の取得による支出	△3,200	—
長期前払費用の取得による支出	—	△500
差入保証金の差入による支出	△11,247	△9,340
差入保証金の回収による収入	9,107	7,864
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,556	△13,954
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△102,846	△121,204
リース債務の返済による支出	△4,975	△10,518
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107,821	△31,722
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△19,099	32,790
現金及び現金同等物の期首残高	433,854	391,496
現金及び現金同等物の四半期末残高	414,755	424,287

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社の報告セグメントは、「飲食事業」及び「通販事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、「通販事業」の相対的割合が非常に低く、セグメント情報の重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。